

平成 26 年 3 月 9 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

聖餐式

司 会 : 小木秀夫兄
奏 楽 : 片岡立子姉
おいのり : 持田樹理姉
さんび : 新聖歌 298 「主に任せよ」 1. 2. 節
主の祈り
聖 書 : 創世記 12 章 1 ~ 4 節 (P.13)
(朗読: 加藤由美子姉)
音 楽 : 倉知契牧師
メッセージ : 「 出発信仰 」 倉知 契牧師
さんび と 献金 : ♪ 明日はどんな日か
頌 栄 : ♪ ハレルヤ(B♭)
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 教会に皆様を歓迎します。礼拝後昼食もどうぞ。
- ◇ 3/30(日)持ち寄り音楽会は伝道のチャンス。
- ◇ 昨年受洗の浅井信義さんが召天されました。
告別式 3/10(月)10時～。場所:愛昇殿
名古屋市天白区野並3-231(052-896-0004)
地下鉄「桜通線」野並駅徒歩0分(2番出口)
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
木曜10時半 / 土曜掃除10時半・祈禱会11時15分
- ◇ 祝大 Aコース:マルコ 9章～12章
Bコース:民数記 28章～申命記 7章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年3月16日] [愛餐会]
[司会:平松章治兄、いのり:下岡晶子姉、聖書朗読:持田樹理姉]
[ピアノ:小島明美姉、賛美リード:小島 誠兄
アシスト:大神 雄兄、加藤由美子姉
[献金:加藤和代姉、受付:太田昌子姉]
◇PA:平松章治兄 ◇週報編集:片岡洋一兄
◇ホームページ編集:大神真伸兄 ◇日曜学校:持田樹理姉



3・11から三年を迎えようとしています。以前礼拝で紹介した天野祐吉さんの著書「成長から成熟へ」にこうありました。敗戦8・15で成長社会が始まり、大災害3・11で「成長から成熟へ」の転換が始まる。でもこの3・11を契機とする国の再生は遅々として進まない。災害地の復旧だけでなく、日本そのものの再生もうやむや。それどころか現政権は、3・11以後でなく以前の日本の再生をしようとしてないか。そう語って、哲学者久野収先生から聞いた話を引用します。

昔の中国の皇帝は、画家や陶芸家の品等を、専門のスタッフと相談して決めたそうです。一等を一品と言った。天下一品の一品。そして以下、二等・三等ではなく、二品・三品と格付けする。が、中国の面白いのは、審査のものさしでは測れないが、個性的で優れているものを「絶品」とか「別品」として認めたそうです。「別品(別嬪)といったら、今では美人のことを指しますが、もともとはちょっと違った。これは関西から来た言葉で、正統派の美女に対して、ちょっと声がかすかとかファニーフェイスだとか、そういう美女を別嬪と呼んだのです。ところがいまは俗流化して、別嬪というと美人のことになってしまった。ぼくが言いたいのは、別嬪とか逸品とか絶品というのは、非主流ではあるけれど、時を経ると、どちらが一位であるかわからないような状況の生じる可能性があるということなんです」

別品。

いいなあ。経済力にせよ軍事力にせよ、日本は一位とか二位とかを争う野暮な国じゃなくていい。「別品」の国でありたいと思うのです。(天野祐吉)

希代のコラムニストの文章に脱帽です。では別品の国はどこに？私はマタイ5章にその答えがあると思います。『こころの貧しい人たちは幸いである、天国は彼らのものである。悲しんでいる人たちは幸いである、彼らは慰められるであろう。憐れみ深い人たちは幸いである、彼らは憐れみを受けるであろう』。聖書に生きるとは別品の国に生きること。己を低くし互いに愛し合う。東日本のため祈ると同時に、他者の痛みや涙にまなざしを向ける私たちでありたいと願います。

瀬戸カルバリーチャペル

倉知 契

「私の示す地に行きなさい。」 (創世記十二の二)
Go to a land that I am going to show you.